

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	インタラクティブメディア設計学 (加藤 博一 (教授))					
学籍番号	2411080	提出日	令和 8年 1月 19日			
学生氏名	金崎 知華					
論文題目	ロボットのプライバシー配慮行動が人への印象に与える影響					
要旨						
<p>近年, ロボットは人と継続的に関わる存在となり, 対話を通じて秘匿性の高い情報を扱う機会が増加している。従来の研究では, 情報処理技術によるプライバシー保護が主に議論されてきたが, 対話場面においてはロボットの振る舞いそのものが利用者のプライバシー感覚に影響を与える可能性がある。本研究では, プライバシーに配慮したロボットの非言語的行動設計を提案し, それが人に与える印象への影響を評価することを目的とした。声量を下げる, 発話前に周囲を見回す, 口元を覆うといったプライバシー配慮行動をロボットに実装し, 動画提示による実験及び実対話実験を行った。</p> <p>動画実験の結果, プライバシー配慮を含む条件では, 好感度, 知性の有無, 安心感の有無, およびプライバシーに配慮しているという評価が有意に向上した。一方, 対話実験では視覚的な傾向は確認されたものの, 統計的に優位な差は見られなかった。</p> <p>以上より, プライバシー配慮的な非言語行動は知覚可能な形で提示された場合には明確な印象差を生むが, 實対話では必ずしも意識化されないことが示唆された。本研究はロボットのプライバシー配慮を機能だけでなく理解される振る舞いとして設計する必要性を示すものである。</p>						